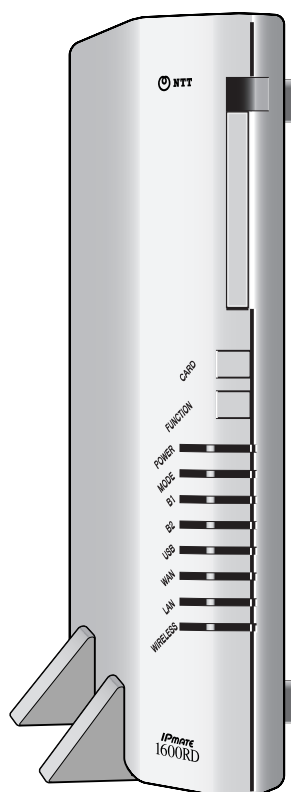


# *IPmate* 1600RD

## 取扱説明書 [第1部]

このたびは、IPMATE1600RDをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



# ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。  
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品のアナログポートは、電話網の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の付属ソフトウェアは、日本語版のOS上でご使用になることを前提としています。それ以外の環境では、動作を保証しておりません。
- 本商品の付属ソフトウェアを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行なわないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品に付属のCD-ROMは、一部または全部をバックアップ以外の目的で、いかなる方法においても無断複製することは法律で禁じられています。
- OS提供事業者がサポートを終了したOSについては、技術的なサポートを受けることが出来なくなるため、当該OSに起因すると思われる技術的問題が発生した場合に調査・分析等の対応が出来ないことがあります。

Windows<sup>®</sup>2000 は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 2000 operating system の略です。

Windows<sup>®</sup>XP は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup>XP operating system の略です。

Windows Vista<sup>®</sup> は、Microsoft<sup>®</sup> Windows Vista<sup>®</sup> operating system の略です。

Windows、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS は米国およびその他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

Hayes は米国 Hayes Microcomputer Products, Inc. の登録商標です。

Adobe および Adobe Reader<sup>®</sup> はアドビシステムズ社の商標です。










その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

本文中では登録商標等の記号を省略して記載いたします。

# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

## 本書中のマーク説明

表示	記号の内容
 危険	この表示の内容を無視して、取り扱いを誤った場合、「人が死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」ことを示しています。
 警告	この表示の内容を無視して、取り扱いを誤った場合、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」ことを示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、取り扱いを誤った場合、「人が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される」ことを示しています。
	この内容の表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」を示しています。
	この内容の表示は、してはいけない「禁止」を示しています。
	この内容の表示は、必ず実行していただく「強制」を示しています。
 参照	この表示は、他の章など参照すべき関連項目を示しています。
 Point	この表示は、ご使用にあたり注意すべきポイントを示しています。
 出荷時設定	この表示は、工場出荷時の設定であることを示しています。



## 警告



禁止

本商品の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、落ちたりして内部に入った場合、感電や火災のおそれがあります。

電源ケーブルを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工・加熱したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、重量物を載せたりしないでください。傷んだまま使用すると、感電や火災、ショートの原因になります。

電源電圧はAC100V ± 10V (50Hz/60Hz) でお使いください。この範囲を超える電圧での使用は、本商品の破壊や発火の原因ともなりますので、絶対に避けてください。

電源ケーブルが傷んだら、使用しないでください。感電や火災の原因になります。

本商品の上、電源ケーブル、その他のケーブル類の上に物を置いたり、乗ったりしないでください。感電・火災・故障の原因となります。

本商品は国内仕様のため、海外での使用、回線への接続はしないでください。





火気の近くには置かないでください。本商品の破壊や発火の原因ともなりますので、絶対に避けてください。

本商品または乾電池を廃棄する場合は、他のゴミと一緒に捨てないでください。火中に投げると破裂するおそれがあります。また、廃棄するときは地方自治体の条例または規則に従ってください。

医療用電気機器の近くに設置したり、近づけないでください。本商品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。


**警告**

	<p>心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離してください。 電波によりペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。</p>
	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全のまま使用すると、感電や発熱による火災の原因となります。</p>
	<p>電源プラグの抜き差しをするとき、金属部分ではないプラグを持ち行なってください。感電や火災の原因となります。</p>
	<p>電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で良く拭いてください。湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。</p>
 電源プラグを抜く	<p>万一本商品から発煙・異臭が発生したときは、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、感電や火災のおそれがあります。</p>
	<p>本商品を落下させたときは、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、感電や火災のおそれがあります。</p>
	<p>近くに雷が起きたときは、電源ケーブルや外部接続ケーブルを電源コンセントから抜いてください。接続したままにしておきますと、装置を破壊し、感電や火災の原因となります。</p>
 分解禁止	<p>本商品の分解・解体・改造・再生をしないでください。本商品が故障したり、けがをする原因となります。</p>
 アース線接続	<p>雷からの機器の保護・安全のため、アース線を接続してください。アース線を接続する際は、必ず電源プラグを電源コンセントから外して行ってください。</p>
	<p>アース線は、ガス管や水道管にはつながないでください。感電や火災のおそれがあります。</p>





注意



禁止





本商品内部が高温になるため、布をかぶせたり、通風孔をふさいでのご使用は避けてください。火災のおそれがあります。
直射日光のあたる所や暖房器具の近くなど高温になる所でのご使用、および保管は避けてください。感電や火災のおそれがあります。
不安定な台の上や振動、衝撃の多い所でのご使用は避けてください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。
IPMATE1600RD 後面のケーブル挿入口および FG には指や異物を挿入しないでください。感電や故障の原因となります。
本商品を温度 5 ~ 35 °C、湿度 45 ~ 85% 以外の環境ではご使用、保管を避けてください。誤動作の原因になります。
本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
本商品を電池ボックス側を下にして置かないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。
本商品を重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
付属品の CD-ROM をオーディオ用プレイヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカの破損や耳の障害の原因となることがあります。
テレビやラジオなどの強い磁界を発生するものから、できるかぎり離してご使用ください。雑音が入ったり、画像が乱れる原因になります。
長期にわたって不在にするとき、または長期間ご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルを電源コンセントから抜いてください。
モジュラケーブルは屋内のみで配線してください。雷などによる故障の原因となりますので、屋外に渡る配線は行なわないでください。
ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生している所に置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。 <ul style="list-style-type: none"><li>・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなる場合があります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。</li><li>・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画像が乱れることがあります。</li><li>・放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。</li></ul>
硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなる場合があります。

	<p>本商品を移動する場合、電源ケーブルやケーブル類などを外してください。コードが傷つき感電や火災のおそれがあります。</p>
	<p>本商品は、屋内に設置してください。屋外で使用すると故障の原因となります。</p>
	<p>薬品が触れたり、薬品の近くには置かないでください。故障の原因となります。</p>
	<p>INS ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。</p>
 電源プラグを抜く	<p>お手入れの際は安全のため、電源プラグを電源コンセントから抜いて行なってください。感電の原因になります。</p>

## 乾電池について

電池ボックスをご利用いただくにあたっては、以下の注意事項を守って、正しくご使用ください。



	<p>液漏れしたとき、“液”が目に入ると危険です。失明のおそれがありますので、こすらずきれいな水で十分に洗浄し、直ちに医師の治療を受けてください。</p>
 禁止	<p>乾電池は新しく購入した十分に電池残量のある単3形アルカリ乾電池（LR-6）をご使用ください。乾電池の液漏れや発熱・破裂のおそれがあります。</p> <p>乾電池挿入口の金具を加熱したり、プラスとマイナス部分の金具を針金などの金属類で接続したり、変形させたり、半田付けしたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池など）や残量の少ない古い乾電池を使用したりしないでください。乾電池の液漏れや発熱・破裂の原因となります。</p> <p>乾電池の液が漏れ、皮膚や衣類に付着したらすぐに洗い流してください。皮膚障害をおこすおそれがあります。すぐにきれいな水で十分に洗浄してください。</p>
	<p>乾電池の極性（+-）は正しい方向でお入れください。誤まった方向で乾電池を入れると、乾電池の液漏れや発熱・破裂の原因になります。</p>
 分解禁止	<p>乾電池挿入口の金具を分解・改造したりしないでください。乾電池の液漏れや発熱・破裂のおそれがあります。</p>





注意



禁止

高温での使用や放置はしないでください。乾電池の液漏れ・破裂により、火災・けがの原因になるおそれがあります。



停電がない場合でも 1 年に 1 回の割合で新しいアルカリ乾電池に交換してください。長期間乾電池を装着したままご使用になると、液漏れによるトラブルが発生するおそれがあります。また、乾電池の劣化により、停電時にバックアップ機能が働かなくなるおそれがあります。

# IPMATE1600RD 取扱説明書の構成と内容

IPMATE1600RD の取扱説明書は、2 分冊となっています。

**第 1 部 (本書) 第 1 章～第 4 章、および 付録**

**第 2 部 (PDF) 第 5 章～第 9 章**

## 参照

- CD-ROM 内には、本書 (第 1 部) の PDF も添付されています。
- パソコンの CD-ROM ドライブに CD-ROM をセットし、IPMATE1600RD のメニューから選択して、お読みいただけます。

## ☆Point

- CD-ROM に添付された取扱説明書をお読みいただくためには、Adobe Reader が必要です。
- お持ちでない方は、本商品の CD-ROM から Adobe Reader をインストールしてご使用ください。

## [第 1 部] (本書) の内容

### 第 1 章 お使いになる前に

この章では、IPMATE1600RD についての基本的な事項や設置方法、安全上の注意について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

### 第 2 章 パソコンのネットワーク設定

この章では、ネットワークインタフェースを持つパソコンと本商品の LAN ポートを接続して、INS ネット 64 を通してインターネットに接続する際のネットワーク設定について説明します。説明に従って、正しく設定してください。

### 第 3 章 ダイアルアップルータモードの使い方

この章では、ルータ機能全般や、INS ネット 64 によって、インターネット接続や、LAN 型接続するダイアルアップルータモードについて説明します。説明に従って、正しく設定してください。

## 第4章 アナログポートの使い方

この章では、INS ネット 64 の提供するいろいろな機能・サービスに対応しています。INS ネット 64 の付加サービスであるフレックスホン、INS ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイなど IPMATE1600RD が有する各機能を十分にご利用していただくために、この章の内容をお読みください。

## 付録

### [第2部] (PDF) の内容

## 第5章 ブロードバンドルータモードの使い方

この章では、WAN ポートに接続した ADSL モデムを経由してインターネット接続する際の設定について説明します。

また、ワイヤレス LAN と有線 LAN をつなぐアクセスポイントとして使用する際の設定についても説明します。説明に従って、正しく設定してください。

## 第6章 いろいろな機能

ダイヤルアップルータ / ブロードバンドルータ / アクセスポイントで使用する場合のいろいろな設定方法について説明します。説明に従って、正しく設定してください。

## 第7章 TA モードの使い方

この章では、IPMATE1600RD をターミナルアダプタとして使用する場合のデータポート、USB ポートに必要な設定およびインターネットへの接続方法について説明します。説明に従って、正しく設定してください。

## 第8章 ワイヤレス LAN の使い方

この章では、別売の専用オプションカード (IPMATE1600RD-STC II) を本商品のアクセスポイントカードスロットに挿入することで、IEEE802.11b 対応の専用オプションカード (IPMATE1600RD-STC II) を装着したパソコンから接続する際の設定について説明します。専用オプションカード (IPMATE1600RD-STC II) をインストールしたパソコンは本商品と接続することにより、インターネット接続や LAN 内の他のパソコンとの通信が可能になります。

## 第9章 資料

この章では、IPMATE1600RD の設定を行なうための、AT コマンドや S レジスタという制御用コマンドについて説明します。これらは、通信ソフトの初期化文字列として入力したり、通信ソフトのターミナルモードからキー入力して、動作を指示したり設定を行なったりする際に使用します。AT コマンド、リザルトコード、S レジスタ、\$I レジスタ、切断理由を表にまとめてあります。また機器仕様、トラブルシューティングなどを記載しております。

# 目次

## [第 1 部]

<b>第 1 章 お使いになる前に</b> .....	<b>1-1</b>
1.1 特長.....	1-1
1.2 セットを確認してください.....	1-3
1.3 各部の名前.....	1-4
1.4 停電になったときのために.....	1-11
1.5 各種契約の確認.....	1-13
1.5.1 各種回線加入契約について.....	1-13
1.5.2 プロバイダ加入契約の確認.....	1-13
1.6 操作の流れ.....	1-14
1.7 接続.....	1-15
1.7.1 回線と電話機の接続.....	1-15
1.7.2 パソコン、その他の機器の接続.....	1-18
1.7.3 アクセスポイントカードの接続.....	1-19
1.7.4 アクセスポイントカードの取り外し.....	1-22
1.8 動作の確認.....	1-23
1.9 USB ポートを使うには.....	1-26
1.9.1 動作モードと USB ポートの機能.....	1-26
1.9.2 USB ドライバのインストール手順.....	1-27
1.9.3 USB ケーブルの接続.....	1-29
1.9.4 USB-LAN アダプタ ドライバの組み込み.....	1-30
1.9.5 USB-LAN アダプタドライバのインストール.....	1-32
1.9.6 USB アダプタの取り外し.....	1-36
<b>第 2 章 パソコンのネットワーク設定</b> .....	<b>2-1</b>
2.1 ネットワークの設定.....	2-1
2.1.1 Windows 2000 のネットワーク機能の設定.....	2-1
2.1.2 Windows XP のネットワーク機能の設定.....	2-3
2.1.3 Windows Vista のネットワーク機能の設定.....	2-5
2.2 IPMATE1600RD の設定.....	2-8
<b>第 3 章 ダイアルアップルータモードの使い方</b> .....	<b>3-1</b>
3.1 ダイアルアップルータモードの機能について.....	3-1
3.2 機器の接続.....	3-2
3.3 ダイアルアップルータモードの基本設定.....	3-2
3.4 インターネットに接続する.....	3-7
3.5 ワイヤレス LAN を使用する.....	3-7
<b>第 4 章 アナログポートの使い方</b> .....	<b>4-1</b>
4.1 アナログポートについて.....	4-1
4.2 アナログポート設定.....	4-1
4.2.1 アナログポート別設定.....	4-2
4.2.2 アナログポート共通設定.....	4-11
4.3 着信制御設定.....	4-13
4.3.1 着信制御 標準設定.....	4-14

4.3.2	データベース (1)、(2) 設定 .....	4-16
4.3.3	i・ナンバー .....	4-18
4.4	アナログ通信機器の使い方 .....	4-19
4.4.1	外線通話の使用方法 .....	4-19
4.4.2	キャッチホン機能の使用方法 .....	4-20
4.4.3	通信中転送の使用方法 .....	4-22
4.4.4	三者通話の使用方法 .....	4-23
4.4.5	疑似迷惑電話おことわりの設定方法 .....	4-24
4.4.6	その他の INS 付加サービス機能 .....	4-25
4.4.7	内線通話の使用方法 .....	4-25
4.5	アナログ通信機器の接続例 .....	4-27
4.5.1	電話機 1 台のみを接続する .....	4-27
4.5.2	アナログ通信機器 2 台を接続して使い分ける .....	4-28

**付録..... 付 -1**

1	故障かなと思ったら .....	付 -1
1.1	全般 .....	付 -1
1.2	USB ポート接続 .....	付 -2
1.3	LAN ポート接続 .....	付 -4
1.4	アナログポート接続 .....	付 -7
1.5	ワイヤレス LAN ポート接続 .....	付 -8
2	初期化方法 .....	付 -9
3	本商品を壁に取り付けるには .....	付 -12
4	オプションについて .....	付 -14
5	設定スイッチ .....	付 -14
6	インタフェース図 .....	付 -16
6.1	USB ポート .....	付 -16
6.2	LAN ポート .....	付 -16
6.3	アナログポート (TEL1 ポート、TEL2 ポート) .....	付 -17
6.4	回線接続端子 .....	付 -17
6.5	S/T 端子 .....	付 -18
7	用語集 .....	付 -19
8	Q&A .....	付 -23
9	索引 .....	付 -33
10	機器仕様一覧 .....	付 -37
11	保守サービスのご案内 .....	付 -38

# CD-ROM 内取扱説明書

## [第 2 部]

<b>第 5 章</b>	<b>ブロードバンドルータモードの使い方</b>	<b>5-1</b>
5.1	機器の接続	5-2
5.2	接続形態の選択	5-3
5.3	フレッツ・ADSL 接続時の設定	5-5
5.4	その他のネットワーク接続時の設定	5-10
5.5	アクセスポイントとして使用する場合の設定	5-14
<b>第 6 章</b>	<b>いろいろな機能</b>	<b>6-1</b>
6.1	端末型接続 (詳細設定)	6-1
6.1.1	ダイヤルアップ	6-1
6.1.2	RAS (リモートアクセスサーバ)	6-7
6.1.3	RAS ユーザー登録	6-9
6.2	LAN 型接続 (詳細設定)	6-10
6.3	専用線	6-13
6.3.1	設定スイッチ	6-13
6.3.2	専用線設定 (詳細設定)	6-14
6.4	BOD/BACP	6-18
6.4.1	128K マルチリンク PPP 動作	6-18
6.4.2	リソース BOD	6-18
6.4.3	スループット BOD	6-19
6.4.4	BACP/BAP	6-21
6.5	接続制限	6-22
6.6	LAN ポート設定	6-24
6.7	ルータ設定	6-25
6.7.1	LAN 情報	6-26
6.7.2	ワイヤレス LAN 情報	6-30
6.7.3	DHCP サーバ	6-32
6.7.4	DNS サーバ	6-33
6.7.5	SYSLOG	6-34
6.8	ルーティング設定	6-35
6.9	スタティックルーティング	6-36
6.10	IP フィルタ	6-37
6.10.1	IP フィルタの設定例	6-40
6.10.2	IP フィルタ初期値	6-42
6.11	MAC アドレスフィルタ	6-44
6.12	NAT 設定	6-45
6.12.1	NAT の設定例	6-46
6.13	DNS 名前解決設定	6-47
6.14	メール着信	6-48
6.14.1	メール巡回	6-48
6.14.2	アカウント登録	6-49
6.15	ランプ表示	6-51
6.16	表示	6-52

6.16.1	日付・時刻設定	6-52
6.16.2	ログリスト表示	6-54
6.16.3	DHCP クライアント情報	6-55
6.16.4	接続・切断	6-55
6.16.5	メール着信情報	6-56
6.16.6	インタフェース統計情報	6-57
6.17	メンテナンス	6-59
6.17.1	バージョン情報	6-59
6.17.2	初期化	6-60
6.17.3	管理者パスワード	6-61
6.17.4	オンラインサポート	6-62

## 第7章 TA モードの使い方 ..... 7-1

7.1	機器の接続	7-1
7.2	ソフトウェアの設定	7-2
7.2.1	USB (シリアル) アダプタの組み込み	7-2
7.2.2	Windows 2000/Windows XP 利用時の設定	7-5
7.3	TA モード設定	7-14
7.3.1	USB ポート設定	7-14
7.3.2	BOD/BACP 設定	7-17
7.4	通信モード	7-17
7.5	非同期通信モードの回線速度	7-18
7.6	専用線での使用	7-19
7.6.1	専用線で使用するための設定方法	7-19
7.7	OCN エコノミーでの使用	7-21
7.8	設定ユーティリティを使用した設定方法	7-22
7.8.1	設定ユーティリティのインストール	7-23
7.8.2	設定ユーティリティのアンインストール	7-26
7.8.3	設定ユーティリティの実行	7-28
7.8.4	設定ユーティリティ メニュー一覧	7-31

## 第8章 ワイヤレス LAN の使い方 ..... 8-1

8.1	IPMATE1600RD のワイヤレス設定	8-1
8.1.1	ワイヤレス LAN 情報	8-2
8.2	ワイヤレス LAN クライアントの設定	8-5

## 第9章 資料 ..... 9-1

9.1	コマンドについて	9-1
9.1.1	コマンドリファレンス	9-1
9.1.2	アナログポートからの設定と確認	9-2
9.1.3	リファレンス一覧	9-4
9.1.4	通信ソフト内初期化コマンド	9-19
9.2	リザルトコード	9-20
9.3	切断理由	9-22
9.4	LAN ポート関連設定項目	9-25
9.5	テスト機能	9-35
9.5.1	自己機能テスト	9-35

9.5.2	ラインテスト .....	9-36
9.5.3	メモリテスト .....	9-36
9.6	ISDN 回線申し込みに関する確認項目 .....	9-37
9.7	退避・復元ユーティリティを使用する .....	9-38
9.7.1	退避・復元ユーティリティのインストール手順 .....	9-38
9.7.2	退避・復元ユーティリティの実行 .....	9-40
9.7.3	設定情報を退避する .....	9-42
9.7.4	設定情報を復元する .....	9-44
9.8	Mac OS のネットワーク設定 .....	9-46
9.8.1	Mac OS 9.2 の場合 .....	9-46
9.8.2	Mac OS X の場合 .....	9-48
9.9	USB ドライバの削除 .....	9-50
9.9.1	USB ドライバのアンインストール (Windows 2000、Windows XP) .....	9-50
9.9.2	USB ドライバの削除 (Windows Vista) .....	9-52



